校長室だより 第17号

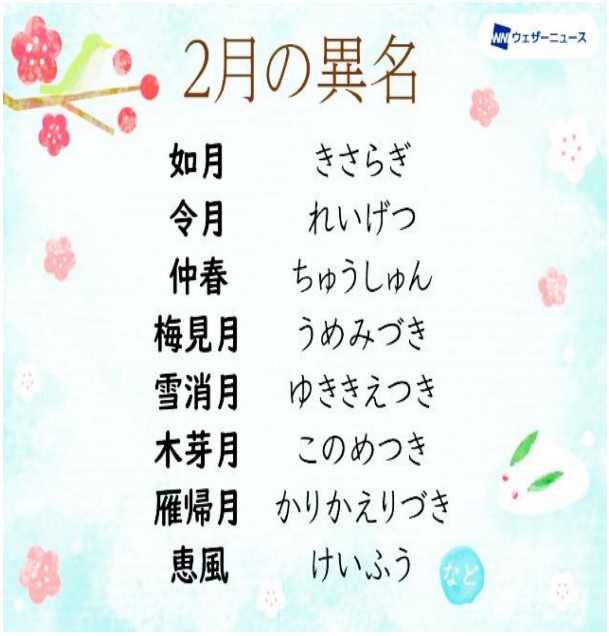
校長　瀧　俊彰

２月　如月（きさらぎ）
それぞれの目標に向かって
健康で充実した生活を！

１月１０日の三学期の始業式からあっという間に一月が終わったと実感しています。特に三年生は受験・進路決定に向けて忙しい時期を過ごしたことでしょう。この間に、コロナ感染症に対する方針、対応が少しずつ緩和される方向で進んでいますが日頃の感染防止対策の徹底は忘れてはなりません。また、インフルエンザも流行の傾向があります。通常の学習活動に感染症の及ぼす影響が最小限で済むようにしたいものです。

暦の上で季節の移り変わりを表す二十四節季では１月２０日が「大寒（だいかん）」でした。今年もそのころに十年に一度といわれた強い寒波があり、一年中で最も寒い時期でした。そして、２月４日が「立春（りっしゅん）」となります。このあと寒い、暖かいを繰り返し春となりますが、寒い日と暖かい日の差が大変大きくなりますのでくれぐれも体調の管理に気を付けましょう。体調管理に大切なことは免疫力を落とさないことです。そのためには規則正しい生活をすることが一番です。

さて、今日から２月。旧暦（陰暦）２月は如月（きさらぎ）と呼ばれています。如月の由来には、厳しい寒さに備え重ね着をする季節を意味する「衣更着（きさらぎ）」、段々と春に向けた陽気となることを意味する「気更来（きさらぎ）」、春に向けて草木が更に生えてくるという意味の「生更木（きさらぎ）」から転じたという３つの説があります。如月（きさらぎ）の由来の通り、１月下旬から２月上旬にかけての一年中でもっとも寒い時期が終わり、春に向けての息吹が感じられるのが二月といわれています。



３年生にとっては試練の二月となるでしょう。
２月１０日から大阪府の私立高校の入試が始まり、その後公立高校の特別選抜、３月の一般選抜と続きます。時間に流されることなく、自分の目標に向かって最後のスパートお願いします。１・２年生にとっては新学年への準備の時期です。今年度のまとめとともに新学年に向けての展望を考えることと自覚を深めることができるように残った行事にも前向きに取り組み、充実した生活をおくってください。

令和　５　年　２　月　　１　日　岸和田市立光陽中学校